

# ★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

195号



2017年11月19日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## — 都心低空飛行問題について —

### ○ 景観市民ネットの市民集会 でも取り上げられます

12月9日(土) 13時30分より  
於 泉の森会館(狛江駅1分)

講演 秀島一生さん(航空評論家)  
那須りえさん(太田区議員)

### ○ 羽鳥慎一モーニングショー でも取り上げました

11月16日(木)9時から5チャンネルの羽鳥慎一モーニングショーの中、玉川氏の「そもそも総研」というコーナーで、この問題が取り上げられました。

騒音・落下物・環境汚染などの従来の問題追及ではなく、騒音による地価下落という新しい切り口でこの問題を追及していました。

アメリカの先事例によれば、1デシベル当たり1、33%の地価下落があると言います。

閑静な住宅地と言われている代官山は、26%の下落の可能性があるそうです。

常盤台だって同じこと、1200m上空だからと言って、南風時15時から19時に、2分に1機が飛ぶのですから、とても「閑静な」とは言えなくなるでしょう。

経済性ばかりが価値観になってしまっている日本人には、このように金銭的な損得勘定に訴えた方が、効果があるのかもしれませんが。

それは人間を大事にする考え方、人権意識というものが、日本人には希薄であることの証明だと思うと、何だか情けない気持ちになりませんか？

### ○ 常盤台の町並み展

時 11月23日(木)～28日(火)  
10時～17時(最終日は16時まで)  
(ただし、25日(土)は午前中のみ)  
所 「ギャラリー服部」

知っているつもりの我が街ですが、意外に新しい発見があるかもしれません。改修中のときわ台駅についてもエレベーターやトイレなど、知りたいことが沢山あります。

25日(土)午後は「南宇都宮駅とときわ台駅」というテーマで、少人数の茶話会があります。宇都宮美術館学芸員の方のお話しを伺います。参加希望の方は事務局にご連絡ください。

### ○ 羽田増便問題についての 国交省主催住民説明会の開催予定

板橋区住民には以下が予定されています。  
2018年2月17日(土)11:00～16:00  
板橋区向原、向原ホール

### ○ 羽田のハブ空港化は無理

中長期の計画性を欠く日本は見捨てられた？

日本経済新聞電子版11月17日では「日本の空はいらない 米航空 仁義なきシフト」と題し、中長期的視野を欠き無理な羽田増便で事を済ませようとする日本に比して、仁川空港さえも凌ぐ規模の巨大中国・北京の新国際空港に秋波を送るデルタやアメリカンの成田撤退が伝えられている。記事は「景気や為替動向に左右されやすい観光客頼みでは『日本の空』の将来図は描けない。米系航空会社の日本離れは、アジア太平洋に開かれた国家を目指す日本への警告でもある」と結んでいる。

## この人にインタビュー(1)

### — 帝都幼稚園の園長さん —

— 永年常盤台の皆さんにおなじみの、地元幼稚園です。

・ 帝都女学園の附属幼稚園として併設されてきました。女性教育と幼児教育の両方を目指して作られました。

— 創立者山本正夫さんは現在の園長山本晴美さんの祖父で、沢山お話しを伺ったので別にまとめたいと思います。木造の園舎は板橋区の文化財に指定されていますね。

・ 昭和二十六年に女学校が焼けた後の校舎を引き屋して残したものです。東日本大震災の後、建築士が検査しましたが、戦前の建物は大工も良いせいか、全く問題は無いと言われました。父や姉、夫が逝去し、現在帝都幼稚園となでしこ幼稚園と二つの園長を兼ねていますが、私自身、若い頃バレエや演劇に夢中だったこともあり、幼稚園のお遊戯会になると園長先生、目の色が変わりますねとスタッフに言われる程です。

帝都という古めかしい名前ですが、名称をころころ変えるつもりはありません。

— 園内の門柱や三本の桜の老木も素晴らしいですね。

・ 根が充分張る余裕があるせいか、花びらが風に舞ったりするとそれは見事です。

— 駆け寄ってくる園児の頭をなでながら「お客さんにご挨拶は？」と優しく促し、笑顔絶やさず応対し、苦勞の影も見せない穏やかな女性でした。

## 言葉の幾つか(7) 一七四号以来です

### — 村度 —

今年の流行語第一位になるのではないかと思うほど耳にした言葉です。いろいろ解説もされましたが、いまいち納得できない感があります。本来は相手の気持ちをおもんばかる意味でしょうが、おもいやりというようない意味で使う場合はまれです。モリカケ問題で飛び交っていたのは、へつらい・おべっか・追従・おもねり、といった日本人お得意の態度の表現でした。そういうえび米軍への「おもいやり予算」なんて言葉もありましたね。正しくは「お追従予算」でしょう。

### 郊外開発の本

#### 常盤台も載っています

一昨年、中央図書館視聴覚室で、花上さんと共に駅舎について講演してくださいました小野田滋さんに教えて頂き、「私鉄郊外の誕生」片木篤編(二〇一七年八月 柏書房)を買いました。常盤台については数ページ、要領よく紹介されていますが、物足りない感じでした。他の住宅地の人たちも同じように感じるのではないのでしょうか。専門的な堅い物ではなく、一般向けに書かれたということなので、総花式になるのは仕方ないかも知れません。

### 「東京新聞」裏面に常盤台の空撮

十一月五日(日)の「東京新聞」三十面の半分に常盤台を空中撮影した写真が載りました。「お屋敷町」の表現に?の人もいます。

## 常盤台公園のはなづくり

十一月十七日にチューリップの球根と、板橋区からの花苗を植え付けました。ボランティアで協力下さった方たちに感謝です。常盤台以外の地から二人も駆けつけてくださいました。四百近くの球根を植えたのは初めて、と喜んでくれました。

前日、球根の割り付けで印を付けていると、男の子達が「何しているの?」と聞いて来て、四月に見に来る約束をしました。通りがかりの人たちが、何人も話しかけて来ましたが、みんなTさんの姿を最近見かけないと心配していました。Tさんは入院を繰り返しながら、体調の良いときは、たまに公園に姿を見せています。

今の時期はツワブキの黄色い花位しか咲いていませんが、今回植えたパンジー、ビオラ、ストック、デージーなどが、頑張っている皆さんの目を楽しませてくれる筈です。

新しく始めたインタビュー記事は、同じ街に住みながら、なかなか知り合う機会もない人たちに、お話しを聞いてみたいと企画しました。

常盤台に関係した人ならば、また皆さんが興味を持ってほしいような人ならば、常盤台在住でなくても取材したいと思います。

第一回は帝都幼稚園の園長さんでした。一五分〜三〇分の予定が、一時間半にもなっていました。快くお話しくださいました。感謝しています。